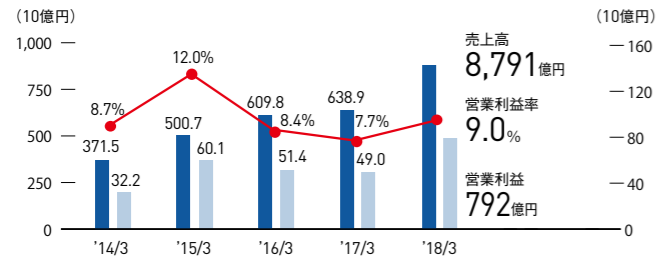


第1章 ミネベアミツミの価値創造ストーリー

財務・非財務ハイライト

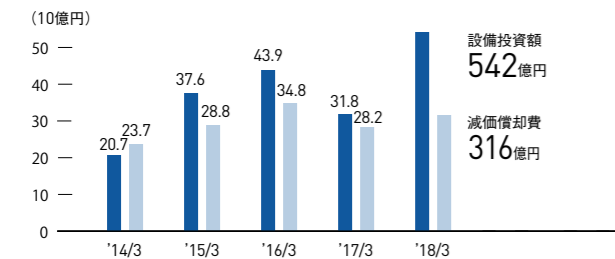
財務ハイライト

売上高、営業利益、営業利益率



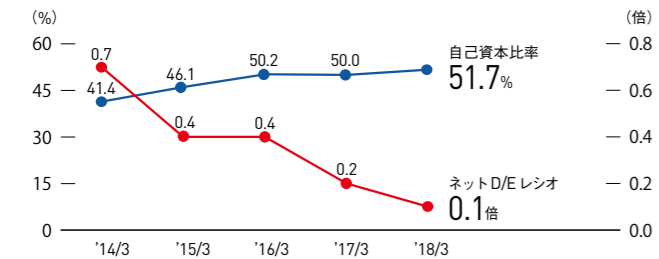
ミツミ事業が収益に大きく貢献したことに加え、主力製品が堅調に推移したことにより、売上高/営業利益ともに過去最高を大幅に更新しました。

設備投資額、減価償却費



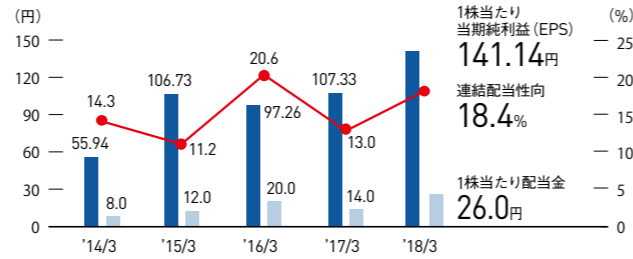
設備投資額はミツミ事業の強靭化投資を中心に増加し、それに伴い減価償却費も増加しました。

自己資本比率、ネットD/Eレシオ



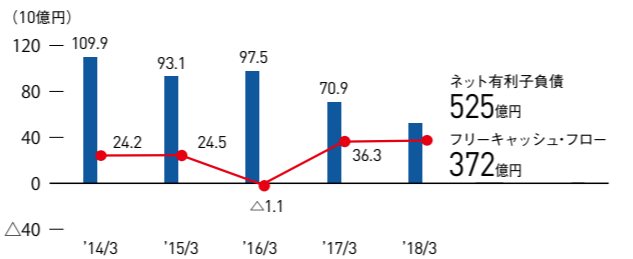
自己資本比率、ネットD/Eレシオともに前期比で改善し、財務体質の改善が進みました。

EPS 及び配当額



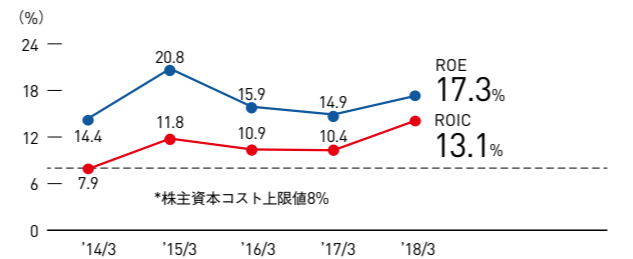
業績をより反映した水準での利益還元を図った結果、2018年3月期の配当は前期比12円増配の26円としました。

ネット有利子負債、フリーキャッシュ・フロー



設備投資が増えるなどのマイナス要因があったものの、フリーキャッシュ・フローも高い水準を維持し、ネット有利子負債はさらに減少しました。

ROE、ROIC



ROEは利益成長や自社株買いなどにより前期比2.4ポイント上昇、ROICが株主資本コスト上限値を上回る構造を維持し、資本効率を高めながら企業価値を向上させています。

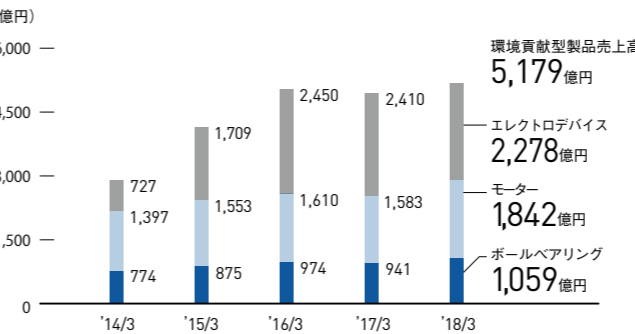
2014年3月期 (10億円)		2018年3月期 (10億円)	
現金預金	38.6	現金預金	104.9
売上債権	74.3	売上債権	167.1
棚卸資産	63.7	棚卸資産	150.1
その他資産	13.1	その他資産	21.8
固定資産	191.6	固定資産	263.9
仕入債務	29.9	仕入債務	98.3
その他負債	39.4	その他負債	78.8
有利子負債	148.5	有利子負債	157.4
純資産合計	163.5	純資産合計	373.3
総資産	381.3	総資産	707.8

好調な業績に裏付けられたキャッシュ・フロー創出力により、バランスシートは大幅に改善しました。2013年度末との比較では、ネット有利子負債が半分以下となった一方で、純資産は大幅に増加、自己資本比率等の財務指標も改善しています。

今後も、創出したキャッシュは、財務規律の維持を前提に、M&Aを含む成長投資を最優先としたうえで財務体質の強化と株主還元を活用していく方針です。

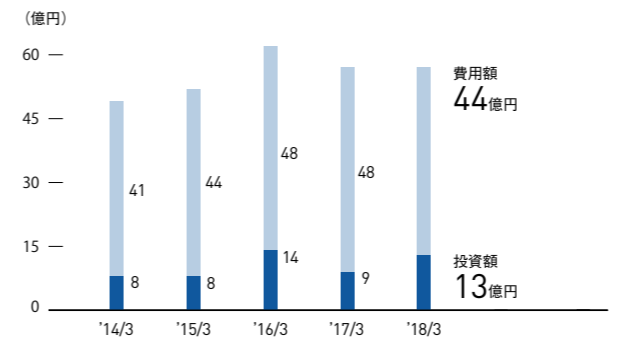
非財務ハイライト

環境貢献型製品売上高



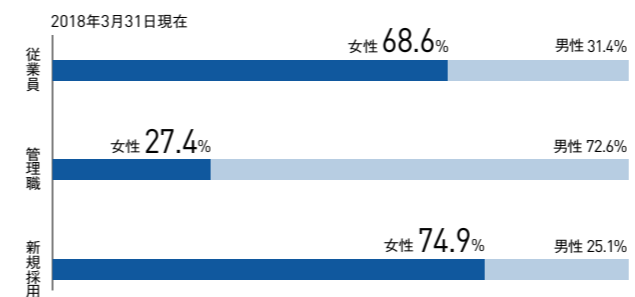
環境貢献型製品は、省エネルギー、高効率、高寿命等に貢献するボールベアリング、モーター、エレクトロデバイス (LED照明関連) 製品です。2018年3月期の三製品の総売上高は、5,179億円で、売上高全体に占める割合は58.9%となりました。

環境保全コスト



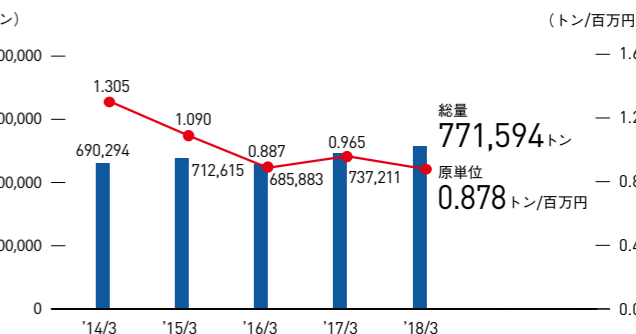
環境省の発行する「環境会計ガイドライン2005年版」を参考に、投資額、費用額の集計を行っています。2018年3月期の投資額、費用額を合わせた環境保全コストは57億円となりました。

女性比率 (従業員、管理職、新規採用)



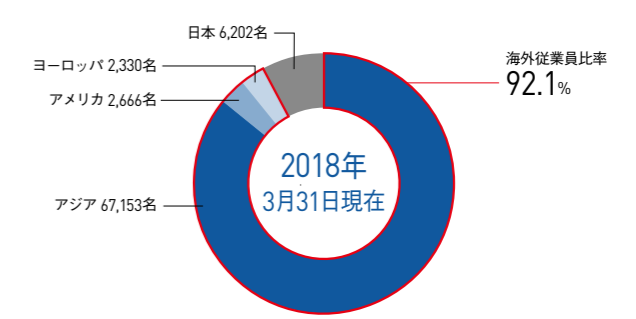
多様な人材が能力を最大限に発揮できる環境づくりによって、新たな価値観や競争力の創出を目指し、女性活躍を推進しています。2018年3月末の女性従業員比率は68.6%、管理職比率は27.4%となりました。

CO2 排出量



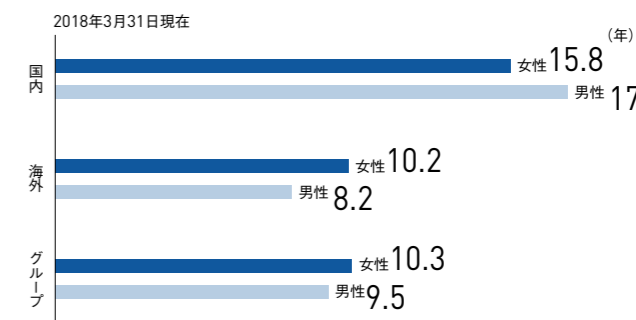
地球温暖化に関わるCO2排出量を総量、生産高原単位で捉えています。生産高原単位は短期的には為替の影響等を受ける場合がありますが、中長期的には減少傾向にあります。2018年3月期は、生産高原単位で0.878トン/百万円のCO2排出量でした。

地域別従業員数



海外売上高・生産高比率がそれぞれ概ね7割、9割を超えているため、海外従業員比率は92.1%と高い数値となっています。

男女別平均勤続年数



男女間で大きな差はなく、グループ全体では女性の勤続年数が長いことから、引き続き育児休業後に就業継続できる職場環境づくりに取り組んでいきます。